

【会議録】

主 題： 令和4年度第1回つくばみらい市地域福祉計画推進委員会・つくばみらい市地域福祉活動計画推進委員会

日 時： 令和4年11月17日（木）午後1時30分～午後2時30分

場 所： つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 大会議室

出席委員： 古舘千恵子委員（委員長）、沼尻和博委員（副委員長）、松本譲二委員、深谷慶仁委員、中村康宏委員、竹川和宏委員、海老沢里美委員、松橋和枝委員、海老原弘委員、伊藤美智子委員、豊島美智子委員、八木岡道孝委員、原三津子委員、鈴木恭子委員、岩本三良委員

欠席委員： 海老沢宏委員、川又朋子委員

事務局： 保健福祉部 草間部長、社会福祉課 石井課長、中山課長補佐
社会福祉協議会 浅川事務局長、安楽課長、松尾課長
㈱環境総合研究所

傍聴人： なし

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員長及び副委員長選出
5. 委員長あいさつ
6. 議 事

(1) 第3次つくばみらい市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定について事務局から説明した。

【質疑等】

委員1： アンケートの内容は事前配布されたもので確定しているのか。

事務局： 設問設計を経た調査票を今回お示しし、調査はこれからとなる。

委員1： 今回の調査票は、第1次計画や第2次計画を策定する際の反省点や第3次計画の策定目的などを踏まえたものになっているのか。

事務局： 現行計画の反省点を踏まえているということではなく、第2次計画を策定する際のアンケート結果と比較できることを基本に、現在の課題やニーズに関するもの等を追加している。

委員1： 設問としてないにしても、第3次計画策定の目的に沿った内容にはなっているという理解でよいか。13～19歳に向けたアンケート調査票をみると、例えば、問10の「8. 青少年の健全育成支援」など、13歳の人理解できるのかなと思われるような文言が多いように感じる。アンケート調査は、答えようと思ってもらえる、答えやすいものにしていくべきではないかと思う。

事務局： これまでもこの設問で調査を実施してきているが、発送までにまだ少し時間がとれるので、ご意見を踏まえて、できる範囲で文言の整理などを行っていきたい。

委員1： 前回のアンケートの回収率はどのくらいだったのか。

事務局： 本日お配りした計画書冊子の 20 頁に記載のとおり、20 歳以上の市民が 34.6%、13～19 歳の市民が 27.0%となっている。

委員 1： ちょっと低いのかなと感じる。アンケート以外にも、もう少し市民の意見が吸い上げられるような方法があったほうがよいのではないかと思うし、アンケートでも、やり方が規定されているのでなければ、単に発送するだけでなく、市役所に来た人にその場で回答いただくなど他の方法もあればよいと思う。

委員長： 貴重なご意見をありがとうございます。他に質問等あるか。

委員 2： アンケートの内容で、20 歳以上市民向けの問 18 と 13～19 歳市民向けの問 10 は同じ内容かと思うが、対象の年代が違えば聞くことも異なると思うので、文言に工夫が必要になるのではないかと。また、対象者をそれぞれ 2000 人と 500 人にした理由があれば教えてほしい。

事務局： 対象者を無作為で選ぶことがアンケート調査の基本なので、市役所に来た方からご意見をいただくというのは、対象者の条件が固定されるという意味で、アンケートとは別に考える必要がある。また、国勢調査のような全数調査ではないので、調査結果から市民のご意見を推定する際には、誤差を考えなければならない。それが、統計的に標準とされるものになるために必要な数は約 400 なので、2000 人に発送すれば十分と考えられる。

(コンサル) 13～19 歳向けの調査については、成人年齢が 18 歳に引き下げられたことも考えると、年齢幅が広いということは感じる。「13～17 歳市民」と「18 歳以上市民」とすることも今後の課題と思う。また、調査の仕方として、ほぼ 100%の回収が期待できる学校単位での配布を行っている自治体もある。この場合であれば、配布数が 500 でも十分となる。

委員 2： 別件ですが、成人のアンケートにある新型コロナに関する設問はひとつだけのようなものである。今回の計画が策定される時でも、まだコロナの影響は続いているのではないかと思うので、もう少し深掘りできたらよいのかなと思う。意見です。

委員長： 他に質問等あるか。

委員 3： 今回、障がい者のアンケートも行われるが、内容的に似ているところも多いので、2 つとも届いた方が混乱することがあるのではないかと思う。発送先が重複しないような配慮はされているのか。

事務局： 同一課のなかなので、調査については承知している。重複はあるかもしれない。

委員 3： 同じような時期での類似した点のある調査なので、少し分かりにくいかなと思う。

事務局： 参考にしたいと思う。

(2) 市民アンケートの実施について

事務局から説明した。

【質疑等】

委員 4： 私たちを取り巻く環境の変化が加速する中で、障がい者や高齢者など社会生活を送る上でハンディを負った人々を行政の力だけで守りきることは難しく、地域で協力して支えることが必要となってきている。そのための福祉計画であると理解している。

最近、ヤングケアラーという言葉も多く聞くようになり、子どもが健全に伸び伸びと育つことが難しいという状況も多々あると思うが、これからの社会を背負っていただかなければならな

い子どもたちは社会の宝です。その子どもについて、SDGsにあるように「誰一人取り残さない」「格差を含まない」ということは広義の社会福祉に入ると思う。高齢者に関しても、デジタル化、非対面化に向かう流れの中で、どのようにすれば情報が伝わり、皆で支え合って生きていけるのか。「支え合って生きていける」ということが地域の社会福祉の基本になると思うので、そうしたことも検討に含めていただき、より皆に伝わっていく計画になればいいと思う。

委員長： ありがとうございます。

事務局： アンケートについて本日いただいたご意見については、事務局で協議し、改善できる部分については反映できるようにするので、ご了承願いたい。

委員長： その他何か質問等あるか。→無

7. 閉 会

【配布資料】

- ① 会議次第
- ② つくばみらい市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員名簿
- ③ つくばみらい市地域福祉計画推進委員会要綱
- ④ つくばみらい市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会要綱
- ⑤ 第2次つくばみらい市地域福祉計画・つくばみらい市地域福祉活動計画
- ⑥ 第2次つくばみらい市地域福祉計画・つくばみらい市地域福祉活動計画【概要版】

【事前配布資料】

- 資料1 つくばみらい市第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
- 資料2 アンケート調査票（20歳以上市民向け）
- 資料3 アンケート調査票（13～19歳市民向け）